会長あいさつ

　日本には4,000 館を超える博物館施設が存在するといわれますが、そこには歴史博物館や郷土資料館、美術館、科学館、そして動物園、水族館、植物園など、様々な種類の博物館が含まれています。一方、博物館の設置者も、国、都道府県、市町村、企業、公益法人、宗教法人、大学、個人など多岐にわたり、入館者数も施設の規模も多様です。こうした多くの博物館が、それぞれの特色を活かした活動を展開することによって、私たちは、歴史や美術、自然、科学や地球環境など多岐にわたるテーマについて、楽しく学びながら、明日を考えるための糧を手に入れることができます。また、日本を訪れる多くの外国人にとっても、これら多くの博物館を利用することで、日本への理解を深めることができます。

　このように博物館は、人々に「心の栄養」をお届けする大切な役割を担う施設ですが、現実は、国や地方の財政難、市町村合併、経済環境の悪化、公益法人改革等、昨今の社会情勢のなかで、多くの課題を抱えています。

　公益財団法人日本博物館協会は、設置者や館種を超えた横断的な博物館振興のための中核機関として、昭和3年(1928) の発足以来、活動を続けてきました。日本博物館協会は、現在の博物館を取り巻く社会状況に鑑み、今後、さらに協会の組織基盤を整備・強化するなかで、博物館界全体が、将来にわたり元気にその機能を発揮できるよう、様々な活動を展開し、求められる役割を果たしていきたいと考えております。国や地方の博物館に関する動向を各館に伝える一方、博物館の現状・課題を集約し、行政や設置者に的確に訴えるとともに、改善に向けての調査研究、博物館職員の研修、全国博物館大会の開催など、多彩な事業展開のなかで、新しい情報をスピーディに発信できる機能の充実に努めて参ります。

　なお、このたび、日本博物館協会は、公益財団法人として新たに発足しました。これを機に博物館振興に関する諸事業のさらなる充実を図るとともに、公益性及び信頼の向上に努めてまいります。

　つきましては、日本博物館協会の活動につきまして、趣旨をご理解の上、協会活動に積極的にご参加いただき、ご協力ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。